

# うちなーぐち

かわら版

沖縄語を話す会会報

第24号

2019年7月6日発行

会長 山路 安清

事務局

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-26-10-101

伊藤須美子

電話 090-9834-7808



ヤンバルクイナ

沖縄語を話す会は、沖縄本島の伝統的な言葉を知るための勉強会です。  
沖縄語の歌の理解にも役立ちます。月に2回、東京品川の大崎で行います。  
入会はいつでもできます。照会は上記の事務局へ。

- ・ <sup>くー</sup>小さいに <sup>うびん</sup>覚出じゃち-----伊藤須美子 2頁
- ・ エキゾチックな <sup>うちなー</sup>沖縄と <sup>うたさんしん</sup>唄三線-----中島達美 3頁
- ・ イラスト-----小林雅代 (表紙)
- ・ 事務局から-----5頁

ホームページ

<http://www.wvq.jp/p/>

沖縄語教育支援文庫

<http://www.wvq.jp/q/>

くー うびん  
小さいに覚出じゃち

伊藤須美子（東京都文京区、那覇出身）

我んねー首里をて生まりて、二ちぬ時ねー  
戦ぬ始まて、女ぬ親や生まりてちゃーき  
ぬ我ん女弟うーふし、ちぶるんかい荷か  
みて、片手や我ん手引ち、片手や荷持っち、  
はーめー、兄弟家人衆、ゑかぬ達まじ  
ゆん成て歩ち、山原んかいふんぎたる風儀  
やいびーん。

戦ぬ終わて、男ぬ親ぬ仕事ぬ為なかい、  
一時泡瀬をて暮らち、小学1年生に上が  
たる時、那覇んかい帰て来ちゃーびたん。我ん  
が覚とーしえー泡瀬ぬ幼稚園歩ちよーたる  
頃からどやいびーる。

那覇をて女弟ん生まりて、家人衆や6  
人成いびたん。我っ達家人衆ー親子皆大和  
口そーいびーたん。やいびーしが親ぬ達や、  
胴ぬ兄弟、同士ぬ達、ちけー隣ぬ人ぬ  
達とー、むる沖繩口やいびーたん。大人

ぬ達ぬゆんたくや面白ぬ、戦ぬ話ん「我  
っ達や夜夜中山ぬ中歩ちやんどー」  
「食むる物ん無ーらん、鰹節かかじたん。」

「かんだ葉ぬあいねーばー場やさ、海ぬ水  
っし食だん。」  
「サイレンぬ鳴いねー、童ぬ  
恐るさっし泣ちーねー、『うっちゃん投げれ  
ー』んて呪ーりたんどー」  
「アメリカんか

いかちみらつてゆるつとさん」て言ち、手様  
膝様し話っし、「今考ーいねー笑いどす  
さ！」んて言ち、笑い飛ばちよーいびーたぐ  
ど、我んねー傍をてうん如ーる話聞ち、「芝

居どか映画どか作い話ぬ如さ」んて思と  
ーいびーたん。今思いねー、大人ぬ達や

沖繩口っし「あんやたさ、かんやたんやー」  
んて言ち、互ーに笑やーち、嫌な思いやいふ  
ふーなー捨てて、肝ゆるつとど成いびたがや  
ー。うぬ頃や学校をて沖繩口使てー成らん  
て言らつてをやびたん。あんしが戦をて家  
人衆皆失て、胴一人成て、ゑかぬ達家  
んかい居たい、年寄びけーんと暮らちよーる  
わらび童や、大和口ぬあんすか成らんて言ち、  
先生んかいいーくる呪ーりて、我んねー今  
ちきうぬ同士ぬ面ぶー覚とーいびーさ。う  
りに掛きれー我んねー、女ぬ親、はーめー  
達と、童やいちゃんだやたくど、時々沖繩  
しばいんー芝居見じーがたっふて行じ、沖繩口ぬ歌三  
線から芝居舞いん見聞ちし、またラジオか  
らん沖繩口ぬゆんたく、てーふ話んでー聞  
ち慣りてをやびーたん。中学生成たる頃や、  
うーまくっし学校をてわじゃつと沖繩口  
ちか使て先生達んかい害そーたる男ぬ生徒ぬ  
達ん、たったいきらく成て方言札ん無ーら  
ん成とーやびーたん。

大和んかえー今やてん東北弁、関西弁、  
九州弁てち、うぬ島々ぬ言葉ぬ残とーい  
びーしが、今ーなー、沖繩ん人や沖繩口ー  
習らんねーむる解らん成て、我ん女弟ん  
達ん、誰ん使いをーさんどーたい。沖繩ん  
かい帰て、街をて「ばーあーちちやいびーさ  
やー。」んて挨拶しん、大概ぬ那覇ん人や  
「こんにちわ」んて言びーさ。あきさみよー  
なー、んまー沖繩やあらんどあるい？沖繩  
や如何ー成いびたがやーたい。



エキゾチックな沖繩と唄三線

中島達美（東京都品川区）

当初の原稿は共通語でしたが、以下はその内容を体し、事務局において沖繩語に書き換えたものです。文中句読点なく文字間に空きがあるのは執筆者の意向によります。

沖繩

1977年まんぐる小柳ルミ子が歌てる「星の砂」んで言う歌ぬ、世間んかい広まるといびたん。くぬ歌一、南ぬ島ぬ余す国思一すし やいび一たくと、八重山ぬ竹富歌たのーあらにんで思一りやびーん。

いぬ時分、JALぬ沖繩旅勤みーる意込ましぬ始まいびたん。ANAやうぬ前からそーいび一たくと、うりどまじゅん成て、大和ぬっ人ぬ 達んかい沖繩旅ぬ広がて、沖繩や ゆくん大和人んかい知らりーる如成いびたん。

我んにん うぬ一人やいびーたん。地図見じゃがな一、沖繩んかい行ち欲さんで思やびたしが、旅ぬ代ぬ高さぬ、大人成たる直ぐぬ我んにんかいや、沖繩や思ゆるまま旅ぬ成いる所一あいびらんたん。うんにーねー、大和をて一旅や大概鉄道さーにさびたん。

大和からぬ沖繩旅ぬ始またしえー、戦前ぬ1937年、大阪商船ぬパックツアー（歩ちゆる所あまくま定みてーる旅）やたんで聞ちょーいびーん。旅ぬ泊や7日、代や高さぬ、旅するっ人ぬ 達や音高さる方々、新聞、雑誌んかい係わとーるっ人ぬ 達どやいびーたる。

沖繩や大概ぬ大和人んかいや、行ち欲さんで思でん行ちゆる事一成いびらんたん。うれーゆかい前ぬハワイ旅ぬ如どあいびーたる。

年ぬ経ち、近頃一沖繩んかいや大概天から行ちゆる如成いびたん。今一飛行機ぬ会社ぬ幾ちんあて、会社に依て一安さる旅ん成いびーん。

2008年ぬ夏ぬ始まいる頃我んねー、家人衆、えーかぬ 達うさーち12人っし、沖繩んかい飛行機さーに旅さびたん。那覇空港から車さーに高速道路から「美ら海水族館」なーでー、首尾成たる直ぐぬ古宇利大橋から古宇利んかい向かやびたん。我んねー車ぬ中から、減潮ぬ場所ぬマングローブぬ変わとーる根見じーねー「目光らさるエキ



ゾチックな南ぬ国沖繩」んかい「小柳ルミ子ぬあぬ歌と行会てから

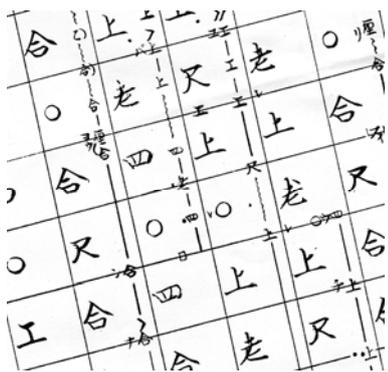
31年後に やっどかっど来ゆーる事ぬ成たん。

唄三線

旅そーる間、あまくまぬばー所歩ちゃびたしが、色分きて恩納村んかい「琉球村」んでしがあて、んまーテーマパークんで言ち、琉球ぬ昔からぬ暮らし方ぬ解いびーん。広さんあい、村ぬ中んかいや昔ぬ沖繩ぬっ人ぬ 達ぬ暮らちょーたる家、あまくまから集みてーいびーん。旅ぬっ人ぬ 達やんま見じーねー、沖繩ぬ昔ぬ暮らし方ぬ良一解やびーん。ばー所一うんなくんな数多くあいびーたしが、うぬ中んかい三線弾ちょーる家ぬあいびーたん。我っ達やむるうさーち12人やいびーたしが、三線でし

えーいーむんやんで思たしえー、我ん一人ど  
やいびーたる。

うんにーに覚たる歌ー「安里屋ユンタ」や  
いびーん。我んねー一杯汗走らち、まじゅん  
居たる女ぬ大学生(たぶん)ぬ加勢さーに、  
安里屋ユンタ弾きわどやるんで言ち、30  
分ぬ間三線持ちちびたしが、初みぬいふ  
おーど弾ちゆーさびたる。工工四ぬ読み方



一、我っ達が  
知っちょーる  
ドレミとー  
杯変わとー  
解い苦さぬ、じ  
やーぬー成い  
びたん。やいび

ーしが、くん如ーる事ぬあど、うりから  
10年後ぬ今、三線弾ちゆしえー我んにん  
かいや止みららん楽しみ成とーいびーん。

沖繩ぬ歌ー、言ーどんしえー唄三線、三  
線弾ちやがなー歌ゆるむんやいびーん。沖  
繩ぬ歌んで言ちん、奄美、沖繩島、宮古、  
八重山ぬ四ちんかい分きらって、歌ー島に依  
て変わとーびーん。数ーむる うさーしーね  
ー、千、2千んあんで言っとーいびーん。今  
ん歌新しくに作とーみしえーる方々んめん  
そーち、世ぬ中んかい広みとーいびーくと、  
歌ぬ数ー次第に多く成とーる筈やいびー  
ん。大和ぬあまくまぬ歌ぬ事情とー、弾ち  
ゆしん数見ちんゆかい変わとーいびーん。

沖繩や歌ど三線ぬ島どやいびーる。  
沖繩をて昔から歌ーりとーる歌ー大概、  
大和口やあらん如、沖繩口っし歌ーりやび  
ーん。うれー我んにんかいや、余所国ぬ言葉

ぬ如どあいびーたる。如何ーしえー解いが、  
読むしん「ぎなた読み」さびーん。歌ゆしえ  
ー言葉ぬ肝合解ど、歌ぬ思い表する事  
ぬ成いびーん。聴ちゆしんかいん歌ぬ思いぬ  
解いびーる筈。言葉ぬ肝合ぬ解らんまま歌  
いどんしえー、「オマジナイ」歌とーしどい  
ぬむんどやいびーる。仏教ぬ声明んでし  
えー解らんてん有り難ーむんやいびーしが、  
沖繩ぬ言葉解らんまま歌ゆしえー益しえー  
あいびらん。

我んねー今、東京ぬ三線仲間と沖繩ぬ  
あまくまぬ唄三線習とーいびーん。幸ー  
な事に、仲間ぬ中んかいや我んどいぬ年  
格好ぬ金武町ん人ぬ居いびーん。うん人  
んかい言葉ぬ肝合問たいする事んあいびー  
しが、歌ー島ぬ変わいねー言葉ん変わゆくと、  
肝合ぬ解らんしが多く成て、あたらん事言  
ちやい、後ぬうじゆめーうん人ん如何ーん  
成いびらん。60位ぬ宮古人から聞ち  
やる話やいびーしが、いぬ学校ぬ生徒ぬ  
達やてん、暮らちよーる島に依てー解らん  
言葉んあんで言る事やいびーたん。

沖繩口ー言一方に依て、言葉ー色々な  
形んかい変わいびーん。変わい方ー多さど  
あいびーる。我んねー沖繩ん人ーあいびらん  
くと、どまんぐとーいびーしが、我んねー元  
から知っちょーる大和言葉とー別に、なー  
ちぬ言葉っし話しーゆーするむんどんやれ  
ー、楽しみ成いんで思やびーん。

若さいに聴ちやる大和歌(星の砂)から始  
またる「エキゾチックな沖繩」や、年重に  
たる今ぬ我んにんかいや「唄三線」どっし止  
みらん楽しみ成とーいびーん。

## 記事別の語句の説明など

くー <sup>うびん</sup>  
小さいに覚出じゃち

いくさ  
戦 = 太平洋戦争。1945（昭和20）年8月終了。沖縄では6月戦闘終了。

い  
言らってちやびたん = 言らっとーいびーたん。

ほーげんふだ  
方言札 = 学校で方言を使った生徒を戒めるために考案された札。次に方言使用者が出るまで首から下げる。学校が考案したもの。

うちなー うたさんしん  
エキゾチックな沖縄と歌三線

くんくんしー  
工工四 = 三線や琴の伝統的楽譜。

ゆ  
ぎなた読み = 文を読むとき、変な所で切るため、滑稽に聞こえる読み方。

ぶつきょー しよーみよー  
仏教の声明 = 僧侶が唱える経など節の付いた声。声楽。

## 編集について

当会会報は2004年に創刊して以来、号を重ねる毎に、多くの皆様から貴重な原稿を頂き、有り難うございます。今号（第24号）まで原稿数は延べにして76稿、執筆者数は33人となっております。

今号は那覇出身で東京都文京区在住の伊藤須美子さんと東京都品川区在住の中島達美さんから原稿を頂いております。

伊藤さんには子供の頃の思い出を幾つか語って頂きました。戦後の食糧不足、小中学生の頃の沖縄語の事情など、身にしみる思いが綴られています。そして沖縄語が忘れられつつある現状を憂えています。

中島さんには40年余りに抱いた異国情緒溢れる沖縄への思いと、簡単にはできなかった沖縄旅行への憧れ、そして10年ほど前に実現した沖縄旅行で遭遇した唄三線への魅力から、その後唄三線に病みつきのなかで、沖縄語の理解の必要性を痛感したことなどが語られています。

原稿は、勉強のため出来るだけ沖縄語で書いて頂きたいのですが、共通語でも構いません。共通語の原稿は事務局で沖縄語に書き換えさせて頂くこととしております。上手な沖縄語ではないかも知れませんが、原稿作成者が将来沖縄語に上達したときに、読み返して頂ければ一層よい勉強になると思います。

共通語から沖縄語への変換においては、出来るだけ伝統的な沖縄語を用いるようにしました。それが困難な場合は、そのまま外来語として取り入れました。

「新聞、電気」などの近代語で沖縄語で表しにくい語

はそのまま用いました。

漢語や外国語は一般に、複数の沖縄語の単語をつなげて表現するよう努めました。そのため字数が増えることがあります。例えば歌が「ヒットする」は「世間に広まっている」という意味で「世間んかい広まとーん」などとします。

この会報では、沖縄語の発音を正しく表記するのに便利な沖縄文字を採用して編集しております。沖縄文字に慣れるまでは、沖縄文字への変換は事務局で行います。以下、表記上の要点を述べます。

（漢字の用い方）沖縄語の文体は漢字交じりの平仮名文とします。漢字にはすべて振り仮名を振ります。

漢字は沖縄語としての漢字とし、共通語への翻訳だけの便宜的な表示は避けます。共通語と意味と音便の関係がある漢字を用いることを原則とします。

例：×琉球 <sup>うちなー</sup> 琉球 <sup>うちなー</sup> 沖縄  
×他府県 <sup>やまと</sup> 大和 ×顔 <sup>ちら</sup> 面  
×同意 <sup>がってん</sup> 合点 ×美らさん <sup>ちゆ</sup> 清らさん

（振り仮名の振り方）個々の漢字の至近位置に振ることを原則とします。

例：×志情 <sup>しな さき</sup> 志情 <sup>し なさき</sup>  
×二所 <sup>たど くる</sup> 二所 <sup>た どくる</sup>

ただし複数の漢字に対して特別の読み方をする場合は、その複数の漢字に対して振ります。

例：年寄 <sup>とすい</sup> 保栄茂 <sup>びん</sup> 大和 <sup>やまと</sup> 近江 <sup>おーみ</sup>

振り仮名の読み音が語尾変化をする場合は、振り仮名の中で変化させます。

例：犬ん（犬も） <sup>いぬ</sup> 犬ん ×犬ぬん <sup>いぬん</sup>  
肝ー（心は） <sup>ちも</sup> 肝もー ×肝 <sup>ちもー</sup>  
世間んかい <sup>しきぬ</sup> ×世間ぬんかい <sup>しきぬ</sup>

（長音の書き方）長音の伸ばしの部分は仮名によらず「ー」を用います。

例：×たありい たーりー  
×さあたあ さーたー  
×とうちょう とーちよー

既にお知らせしてありますように、この会報は沖縄語に関心をお持ちの方なら、会員以外の方でも書くことができます。どうぞ遠慮なく原稿をお寄せ下さい。既に何人の方からも頂いた実績があります。

原稿は趣旨を変えないで、手直しをする場合がありますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

また大変恐縮ですが、原稿料はお支払できませんので、会報をお届けしてお礼に代えさせて頂きます。

この会報を音読などの教材として使用される方がおられましたら、事務局へ連絡ください。会報を増刷して差し上げたいと思います。

沖縄文字一覧と用例

と[tu]	とい(鳥) うと(音) みーと(夫婦)	と[hwel]	とー(南) にとーでーびる(有難うございます)
と[to]	とーふ(豆腐) とーばる(桃原)	へ[he]	へい(おい「目下への呼びかけ」)
ど[du]	どし(友人) やど(宿) どー(自分)	や[?jal]*	やー(君、お前) やん(言わない)
ど[dol]	どーぐ(道具) まんどーん(たくさんある)	や[?jal]	やー(家) やん(である)
と[ti]	とーち(一つ) とーだ(太陽) とん(空)	ゆ[?jul]*	ゆん(言う)
て[te]	てーく(太鼓) てーしち(大切)	ゆ[?jul]	ゆんたく(おしゃべり)
と[di]	ふと(筆) むーとー(喉) ときやー(秀才)	よ[?jol]*	よーいー(おさな子)
で[de]	でーじ(大変なこと) ちよーでー(兄弟)	よ[?jol]	よーんなー(ゆっくり)
ふ[kwa]	ふじ(火事) ふっちー(ごちそう)	あ[?wal]*	あー(豚) あーちち(天気)
か[ka]	かじ(風) かんない(雷) かーま(遠方)	わ[?wal]	わーむん(私のもの)
ふ[gwa]	にんふん(念願) ふんく(頑固)	あ[?wi]*	あー(上) あーりきさん(面白い)
が[ga]	がんちょー(眼鏡、めがね) しがた(姿)	み[?wi]	みきが(男) みなぐ(女)
く[kwi]	くー(声) さっくー(咳) くゆん(呉れる)	系[?we]*	系ーきー(金持ち) 系んちゆ(ねずみ)
き[ki]	きー(木) きゆん(蹴る) きぶし(煙)	系[?we]	うい系ー(お祝) わじゃ系ー(災い)
ぐ[gwi]	ぐーく(越来「地名」)	ん[?N]*	んみ(梅) んに(稲) んなじ(うなぎ)
ぎ[gi]	かーぎ(容ぼう)	ん[?N]	んに(胸) んみ(嶺井「地名」) んなと(港)
く[kwe]	くー(鋤) からじくー(髪きり虫)	い[?i]*	いん(縁) いだ(枝)
け[ke]	けー(かゆ) ちけー(使者)	い[?i]	いん(犬) いーび(指) いちゆん(行く)
ぐ[gwe]	ぐったい(ぬかるみ)	を[?u]*	をと(夫) ちーじ(さとうきび)
げ[ge]	げー(害) にげー(願い)	う[?u]	うと(音) うーび(帯)
ふ[hwel]	ふー(葉) なーふ(那覇)	え[?e]*	えーま(八重山) えーじ(八重洲)
は[ha]	はる(畑) はぎもー(荒地)	え[?e]	えーさち(あいさつ) えーじ(合図)
ふ[hwil]	ふじゃい(左) ふーと(いるか)	お[?ol]	おーじ(扇) おーさん(青い)
ひ[hi]	ひやみかすん(えい、と言う)	を[?ol]	をーじ(王子) をーれー(往来)

[ ]内は沖縄語辞典による読み方 [ ? ]は声門破裂音のあること、[ ' ]は声門破裂音のないことを示します。

\* は単語の語頭だけに用います。語頭以外では用いません。

例 とい(鳥) xとい

音の出だしに、僅かに i をひびかせます。(自由使用とされていますので、使用許可は要りません。)